

大会にお越しいただいた皆さま

全日本鉄道労働組合総連合会 執行委員長 山口 浩治様
書記長 小林 陽介様
総務・共済・国際部長 山田 知様

JR東労組OB会 会長 奥山 光昭様
事務局長 森 将美様
事務局次長 遠藤 政之様

大会にお寄せいただいたメッセージ

北海道旅客鉄道労働組合 中央執行委員長 中川 憲一様
ジェイアール東海労働組合 中央執行委員長 淵上 利和様
JR西日本労働組合 中央執行委員長 前川 誠様
日本貨物鉄道労働組合 中央執行委員長 高木 康之様
鉄道総合技術研究所労働組合 執行委員長 金元 啓幸様
鉄道情報システム労働組合 執行委員長 三枝 祐野様
ホテル聚楽労働組合 執行委員長 斎藤 敏彰様
株式会社 鉄道ファミリー 代表取締役社長 村田 俊雄様
(一財)日本鉄道福祉事業協会 代表理事 田城 郁様
憲法9条―世界へ未来へ連絡会(9条連) 様
森びとプロジェクト 代表 桜井 勝延様
こくみん共済COOP 全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長 打越 秋一様

組合表彰受賞の皆さま



受賞された16名のうち、7名の方が表彰式にご参加いただきました。これまでJR東労組発展のためにご尽力いただき、ありがとうございました。今後もご支援・ご指導をお願いいたします！

サークル展示

写真部とネイチャークラブのサークル展示を行いました。



第33回 情報コンクール

64機関から応募いただきました。ありがとうございます！
情宣活動は組織のバロメーターです。これからも活発な活動をつくり出していきましょう！



最優秀賞受賞機関の情報紙を展示しました。



退任された役員(敬称略)

佐藤 英樹(中央執行委員長)
小川 哲(組織研修担当部長)
長谷 理生(業務担当部長)
今後ともに頑張りましょう！

【支部の部】

最優秀賞 福島支部
優秀賞 盛岡支部
努力賞 大宮総合車両センター支部

【分会の部】

最優秀賞 盛岡新幹線運輸区分会
優秀賞 盛岡運輸区分会
努力賞 仙台運輸区分会

【青年部の部】

最優秀賞 盛岡地本青年部
優秀賞 秋田地本青年部
努力賞 長野地本青年部

【部会・分科会・サークル等の部】

最優秀賞 盛岡新幹線運輸区分会運転士分科会
つがる運輸区分会運転士・車掌分科会
優秀賞 新幹線協議会
努力賞 盛岡地本サークル協議会

【地本推薦特別賞】

盛岡地本 青森駅連合分会
秋田地本 横手支部
仙台地本 新幹線総合車両センター支部
千葉地本 習志野運輸区分会
横浜地本 大船支部
大宮地本 宇都宮駅分会
長野地本 JRバス小諸分会

中央執行委員長 加藤 誠(新)
中央執行副委員長 佐藤 伸也
兼 総務・財政部長 佐藤 伸也
中央執行副委員長 助川 一実(新)
兼 組織研修部長 佐々木 克之(新)
中央執行副委員長 高橋 孝一(新)
中央執行副委員長 鶴ノ澤 信一
書記長 田崎 聡(新)
企画部長 新保 哲之(新)
政治共闘部長 伊藤 栄悦(新)
組織研修担当部長 清水 敏
組織研修担当部長 重久 拓也
組織研修担当部長 湯ノ目 垂矢子
情宣担当部長 久能 裕一
業務部長 関原 和人(新)
業務担当部長 熊澤 賢一
業務担当部長 砂塚 悠介(新)
業務担当部長 本庄 洋一(新)
業務・財政担当部長 福田 潤一
会計監査員 木元 隼人
会計監査員 藤本 毅史
会計監査員 柳本 洋平

大会宣言

JR東労組は、ソニックシティ小ホールにおいて「第43回定期大会」を開催し、スローガンをはじめとする運動方針などを満場一致で確認した。また、組織現実に則した規約改正が承認され、新たなスタートを切っていくことが確認された。しかし、そのスタートは厳しく、組合員のみならずお客さまからの信頼を損なう事象が生じていることを重く受け止め、しっかりと現実に向き合い、課題を克服していかなければならない。

2024 JR総連春闘において「統一要求・統一闘争」にこだわり、「緊急再申し入れ」も行ったたかってきた。要求の前進は勝ち取れなかったが、職場の教訓的なたたかいによって、組織強化・拡大につながった実践が報告された。たたかいの成果と課題を明確にし、教訓を我がものとして次のたたかいへつなげていく。

八戸では大雪での年休申請を隠蔽して「厳重注意」処分、宇都宮ではパワハラ労災申請に至る懲罰的日勤教育、過半数代表選挙を巡る不正、不当労働行為など、常軌を逸した異常な職場管理が横行し、その職場管理が是正されないばかりか、事象の隠蔽ともとれる事象が多数報告された。一方、事象を起こした社員に対する厳罰が行われ、現在の経営姿勢は恐怖支配、見せしめの職場管理となっていると発言があった。この経営姿勢を許してしまえば、「安全・健康・ゆとり」は守られない。このような経営姿勢を是正させるためにはJR東労組の組織強化・拡大しかない。そのことを組合員・未加入者に語り、JR東労組への結集を求めていくたたかいをつくり出していこう。

経営姿勢は安全や施策にも如実に現れている。安全は経営のトッププライオリティとは言葉だけになっていないかとの発言が相次いだ。痛ましい死亡事故や、「このままだと、みんな死んじゃう」と報道された運行優先の運転再開、「安全計画2028」発表以降に引き続いて起きる事故・事象に、私たちは危機感を持ち、警鐘を鳴らしてきた。JR東労組は、職場だけではなく、システムを超えた原因究明委員会を開催して安全議論をつくり、対策を打ち出し、正しく報告するなど自らが安全風土を再確立する実践を強化していく。

また、連携と融合、東北・首都圏本部への業務集約、基地再編、統括センター化、みどりの窓口縮減の一旦凍結など、会社の変化が目まぐるしい中、要員不足の中でも現場の努力によって持ちこたえている。経営の参画意識だけを求めるだけでなく、職場の奮闘に会社は目を向けるべきである。

組織拡大の実践では、原因究明委員会やレクリエーションに参加してJR東労組を感じてもらい、職場内でイニシアチブをとる、業務課題を地道に取り組む、JR東労組の必要性を訴える、加入した仲間を守る、組織として相互議論して取り組むなど、教訓的な実践が報告された。過半数代表者選挙においても、世話役活動をはじめとした職場活動によって、JR東労組に投票してくれる仲間が着実に増えている。

やるべきことをやり、言うべきことを言い、相互議論し、指摘し合えるJR東労組運動を職場から堂々と創り出し、組織の強化・拡大を全組合員で創り出していく。

地方ローカル線を取り巻く現状を踏まえつつ、労働組合としてできることを担い、鉄道を守り、雇用を守り、地域を守るため、議員や地域のみなさんとの連携をJR総連と共に強化していく。また、JR東海労の組合員がJR総連の組合員を訴えるという暴挙に出た。JR総連、JR東労組に対する破壊攻撃であり許さない。そして、今国会での憲法改正原案提出は困難だという見方になっているが、動向を注視していかなければならない。JR東労組は、いかなるテロにも戦争にも反対であり、いかなる命も奪われてはならない。平和で安心して暮らせる社会の実現をめざして、9条連の仲間との連帯を大きくつくり出していく。

この現実をつくり出しているのは自分自身である。よって、現実を正しく掴み出して自覚し、乗り越えていくしかない。雇用を守るといふことは、まず己の姿勢を正すことである。その上で指摘し合える仲間と共に、大いに議論し、改めて「自分にとってのJR東労組」を明確にして、茨の道を切り拓いていこう。そして、1万人組織をめざし、一丸となって前進していこう！

以上、宣言する。

2024年6月19日 東日本旅客鉄道労働組合 第43回定期大会

2024年度新執行体制(敬称略)